

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和市・植田様マンション	階数	地上10F
建設地	大和市中央林間3丁目4328-24、-25、-30、-31、-92	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年12月13日
敷地面積	793 m <sup>2</sup>	作成者	生和コーポレーション(株)一級建築士事務所
建築面積	345 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,501 m <sup>2</sup>	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.0</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p><b>標準計算</b></p> <p>①参照値: 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>②建築物の取組み: 72% (133 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>③上記②以外のオンサイト手法: 72% (133 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>④上記③オフサイト手法: 72% (133 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> <b>Qのスコア = 2.7</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> <b>Q1のスコア = 3.3</b></p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> <b>Q2のスコア = 2.7</b></p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <b>Q3のスコア = 1.8</b></p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> <b>LRのスコア = 3.3</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> <b>LR1のスコア = 4.1</b></p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> <b>LR2のスコア = 2.4</b></p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> <b>LR3のスコア = 3.3</b></p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>外皮に断熱材、窓部には省エネルギー性の高い複層ガラスを設け、建物の熱負荷抑制に配慮した。</p>		その他
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>専用部の開口部には遮音性能T-2を採用 F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>空調・給排水配管は長寿命化を図っている</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>断熱性能等等級四取得予定</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>躯体+鉄柱+仕上材のディテールを採用</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率=72%</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される